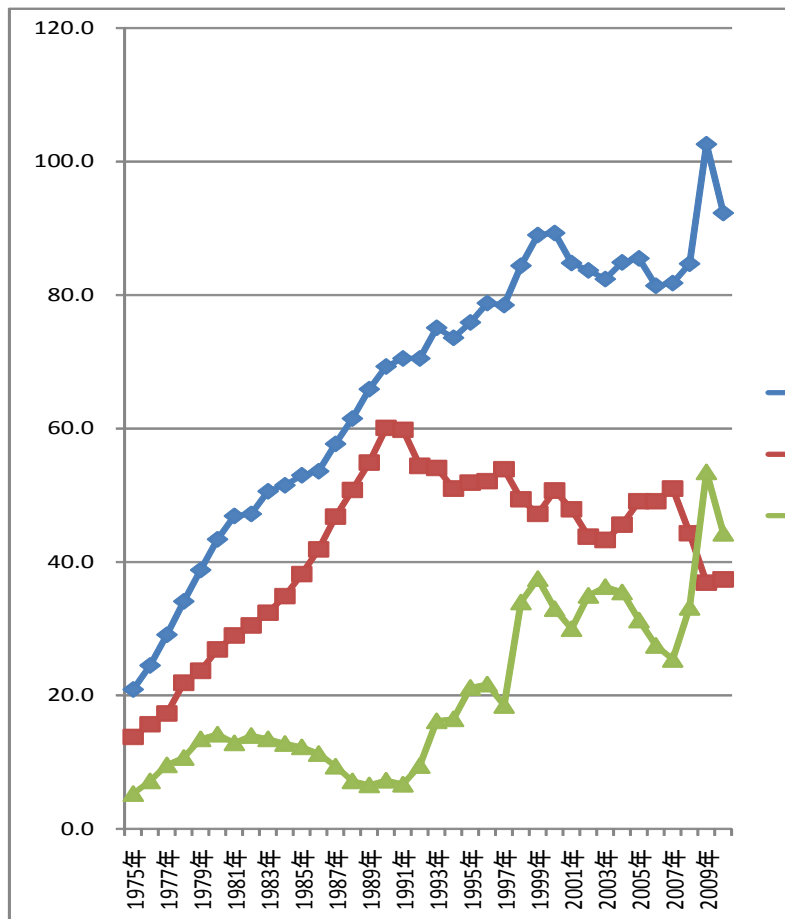


鳴り止まぬ「消費税増税大合唱」狡猾な増税キャンペーンに騙されるな！

2010年8月21日
宮城県商工団体連合会
事務局長 永澤利夫

●歳出・歳入・公債発行年次発行残高
兆円

西暦	歳出	歳入	公債発行額
1975年	20.9	13.8	5.3
1976年	24.5	15.7	7.2
1977年	29.1	17.3	9.6
1978年	34.1	21.9	10.7
1979年	38.8	23.7	13.5
1980年	43.4	26.9	14.2
1981年	46.9	29	12.9
1982年	47.2	30.5	14.0
1983年	50.6	32.4	13.5
1984年	51.5	34.9	12.8
1985年	53.0	38.2	12.3
1986年	53.6	41.9	11.3
1987年	57.7	46.8	9.4
1988年	61.5	50.8	7.2
1989年	65.9	54.9	6.6
1990年	69.3	60.1	7.3
1991年	70.5	59.8	6.7
1992年	70.5	54.4	9.5
1993年	75.1	54.1	16.2
1994年	73.6	51.0	16.5
1995年	75.9	51.9	21.2
1996年	78.8	52.1	21.7
1997年	78.5	53.9	18.5
1998年	84.4	49.4	34.0
1999年	89.0	47.2	37.5
2000年	89.3	50.7	33.0
2001年	84.8	47.9	30.0
2002年	83.7	43.8	35.0
2003年	82.4	43.3	36.3
2004年	84.9	45.6	35.5
2005年	85.5	49.1	31.3
2006年	81.4	49.1	27.5
2007年	81.8	51.0	25.4
2008年	84.7	44.3	33.2
2009年	102.6	36.9	53.5
2010年	92.3	37.4	44.3
合計	2397.7	1511.7	734.6



①「消費税を上げれば景気が良くなる」？「増税しても使い方を間違わなければ景気は良くなる」(菅直人首相)

○1997年橋本内閣3%→5% GDP成長率0.7ポイント下落 消費税は4兆円増収 所得税と法人税収は6.5兆減収

○洋の東西を問わず増税で財政再建した例は皆無

○ましてや長期デフレ下の日本で増税すれば景気は失速する

②社会保障充実のために5%の消費税増税が必要？「消費税の使い道は最低保障年金に充てる」(玄葉光一郎民主党政調会長)

○「最低保障年金7万円」財源約1.7兆 消費税7%必要

○日本の社会保障関係費年間2.4兆8千億をまかなうためには消費税10%

③特別会計はこれ以上削れないから増税はやむをえない

「埋蔵金活用の余地は徐々に狭まっている」(日経新聞)

- 「外国為替資金特会」は100兆円を所有、運用で3~4兆円積立金20兆
- 「地震再保険特会」積立1.2兆円

④日本の政府債務のGDP比は世界一高い? 「債務残高がGDPの約2倍に達し、主要国の中で最悪の日本の財政状態への不信感が高まりかねない」(朝日新聞)

- 「国の借金872兆円、GDP(474兆円)の約2倍」財務省
 - 国の金融資産513兆円(社会保障基金や特会の資産)純債務350兆円
 - 個人の金融資産1080兆円
 - 企業の内部留保 184兆円
 - 対外総資産 266兆円
- } 総資産の合計額1530兆円

○これを個人に当てはめると

年 収 474万円 (GDP 474兆円)	}	これが「破産危機」? 極めて健全です。
預 金1530万円 (総資産1530兆円)		
ロ ー ン 872万円 (債務 872兆円)		

⑤日本がギリシャになる? 「日本はギリシャを教訓とすべき」

(財政制度審議会会長 吉川洋 東大大学院教授)

- ギリシャは自国独自通貨を持っていない(ユーロ)日本は自国通貨であり、万が一財政危機に陥っても為替政策がとれる、株や債券が売られれば円安になり、輸出産業が利益を上げ景気が持ち直すという調整機能が働く
- 日本の国債は93%が国内の金融機関が持っている(預金者は国民)つまり国の借金相手は国民となるので国民は債権者となる
- 純債務は350兆円/1億2千万人=291万円×本当の借金は海外で購入された7%=1人当たり20万3700円 子や孫に借金を残すのかと脅かす財務省こそ詐欺師でありマスコミは詐欺幫助罪、

○

⑥日本の消費税は低すぎる・・・「諸外国の消費税率は20%台が多く5%の日本は異常」(佐々木謙二・横浜商工会議所会頭)

- 日本の消費課税は5%ではなく、すでに32.8%(23兆7453億円)にな
- (国税・地方税の内訳 財務省平成22年度予算から)

消費税	13.3%	9.6兆円	酒税	1.9%	1.5兆円
地方消費税	3.4%	2.4兆円	たばこ消費税	3.1%	2.3兆円
揮発油税	2.6%	2.6兆円	その他の消費課税	5.2%	3.7兆円
自動車税	2.2%	1.5兆円	消費課税合計	32.8%	23.7兆円

07年の消費課税の税収比率(OECD資料による)

日本36.3% カナダ22.5% オーストラリア26.8% イギリス38.4% イタリア38.6%

⑦消費税は平等な課税だから増税に適している?・・・消費税は公平であり、

安定した税収の確保につながる(政府税制調査会)

しかし消費税には「お目こぼしと取りっぱぐれ」がある

- 「輸出戻し税」という優遇措置 輸出企業上位10社で1兆1450億円
- 消費税非課税取引・土地取引・貸付、利子・有価証券取引、受取利息・保険料
- 引き取りに係る石油製品等の免税（ナフサ免税）3兆6967億円

輸出大企業上位10社の濡れずに粟の「輸出戻し税」

会社名	2005年 輸出戻し税	2006年 輸出戻し税	2007年 輸出戻し税
1 トヨタ自動車	2,665	2,869	3,219
2 日産自動車	1,266	872	1,035
3 本田技研工業	1,072	948	1,200
4 ソニー	1,152	1,450	1,587
5 松下電器産業	822	705	735
6 キヤノン	837	931	990
7 東芝	659	626	706
8 マツダ	649	733	803
9 スズキ	443	503	518
10 三菱重工業	409	422	657
合計	9,974 億円	1兆0059 億円	1兆1450 億円

⑧国際競争力をつけるために法人税減税が必要？

●資料 データー消費税税収と 法人税3税減収額暦年集計 (単位:億円)

年度	消費税			法人税	法人住民税		法人 事業税	法人3税 合計	89年度 対比減
	一般会計	地方分	合計		道府県	市町村			
1988				184,381	11,616	29,816	56,005	281,818	
1989	32,699	8,175	40,874	189,933	11,465	33,519	63,369	298,286	
1990	46,227	11,557	57,784	183,836	10,074	31,980	62,926	288,816	9,470
1991	49,763	12,441	62,204	165,951	9,393	32,098	64,763	272,205	26,081
1992	52,409	13,102	65,511	137,136	8,186	27,397	54,075	226,794	71,492
1993	55,865	13,966	69,831	121,379	7,622	23,708	45,680	198,389	99,897
1994	56,315	14,079	70,394	123,631	7,495	22,104	42,029	195,259	103,027
1995	57,901	14,475	72,376	137,354	8,055	22,738	42,352	210,499	87,787
1996	60,568	15,142	75,710	144,833	9,930	26,904	50,840	232,507	65,779
1997	93,047	8,070	101,117	134,754	9,538	25,319	48,295	217,906	80,380
1998	100,744	25,504	126,248	114,232	8,576	22,915	42,113	187,836	110,450
1999	104,471	24,793	129,264	107,951	7,646	20,601	37,037	173,235	125,051
2000	98,221	25,282	123,503	117,472	8,245	21,762	39,180	186,659	111,627
2001	97,671	24,745	122,416	102,578	8,367	21,884	41,018	173,847	124,439
2002	98,115	24,245	122,360	95,234	6,371	16,844	34,527	152,976	145,310
2003	97,128	23,936	121,064	101,152	7,790	20,008	36,293	165,243	133,043
2004	99,740	26,139	125,879	114,437	8,632	22,022	41,233	186,324	111,962
2005	105,834	25,512	131,346	132,736	9,661	24,570	46,984	213,951	84,335
2006	104,633	26,289	130,922	149,179	11,172	28,360	53,627	242,338	55,948
2007	102,719	25,692	128,411	147,444	10,270	26,666	54,700	239,080	59,206
2008	102,540	25,155	127,695	111,590	10,972	28,313	58,265	209,140	89,146
2009	101,300	25,464	126,764	105,440	7,220	19,419	39,426	171,505	126,781
累計			2,131,673						1,821,211

①

●消費税法の改悪で納税負担はどう変わってきたか

業種別区分	売上区分	消費税導入	簡易区分の変更	消費税5%に	免税点1000万円	10%になったら
	売上	H元/4	H3/4	H9/4	H16/4	H25/4
第2種 小売業	1千万円	0	0	0	100,000	200,000
	3千万円	0	0	0	300,000	600,000
	5千万円	200,000	300,000	500,000	500,000	1,000,000
	1億円	600,000	600,000	1,000,000	?	?
第3種 製造・建設 農林漁業	1千万円	0	0	0	150,000	300,000
	3千万円	0	0	0	450,000	900,000
	5千万円	200,000	450,000	750,000	750,000	1,500,000
	1億円	600,000	900,000	1,500,000	?	?
第4種 飲食・保険 加工・手間	1千万円	0	0	0	200,000	400,000
	3千万円	0	0	0	600,000	1,200,000
	5千万円	200,000	600,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
	1億円	600,000	1,200,000	2,000,000	?	?
第5種 サービス 運送・理美容 整備・修理 不動産・旅館	1千万円	0	0	0	250,000	500,000
	3千万円	0	0	0	750,000	1,500,000
	5千万円	200,000	600,000	1,250,000	1,250,000	2,500,000
	1億円	600,000	1,200,000	2,500,000	?	?

②

大企業上位10社の「輸出戻し税」額(仙台市の一般会計予算額4421億円)

会社名	2005年 輸出戻し税	2006年 輸出戻し税	2008年 輸出戻し税	これが10% になったら
1 トヨタ自動車	2,665	2,869	3,219	6,438
2 日産自動車	1,266	872	1,035	2,070
3 本田技研工	1,072	948	1,200	2,400
4 ソニー	1,152	1,450	1,587	3,174
5 松下電器産	822	705	735	1,470
6 キヤノン	837	931	990	1,980
7 東芝	659	626	706	1,412
8 マツダ	649	733	803	1,606
9 スズキ	443	503	518	1,036
10 三菱重工業	409	422	657	1,314
合計	9,974億円	1兆0059億円	1兆1450億円	2兆2900億円

③大盤振る舞いの不公平税制を元に戻して庶民応援を
不公平税制を元に戻すと国税で 18.9 兆円 地方税で 12.8 兆計 31.8 兆の増収

●おもな大企業トップの役員報酬と減税額(平均1人1900)

業種	氏名	企業・役職	年間報酬額	推計減税額
自動車	カルロスゴーン	日産社長	8億9100万	1億2291万
	張富士夫	トヨタ会長	1億3200万	1475万
	伊東孝紳	ホンダ社長	1億1500万	1233万
電気	ハワード・ストリ	ソニー会長	8億2550万	1億1357万
	中鉢良治	ソニー副会長	2億1304万	2630万
	川村邦夫	日立会長	1億3400万	1503万
	中村邦夫	パナソニック会	1億2200万	1332万
	西田厚聰	東芝会長	1億700万	1119万
金融・証券	渡部賢一	野村社長	2億9900万	3855万
	宮内義彦	オリックス会長	1億8300万	2202万
	マイケル・クック	新生銀行専務	1億4900万	1717万
	齋藤宏	みずほ前会長	1億2300万	1347万
	永易克典	三菱UFJ社長	1億1100万	1176万
鉄鋼	三村明夫	新日鉄会長	1億7060万	2025万
医薬	長谷川閑史	武田薬品社長	2億2300万	2772万
その他	北島義俊	大日本印刷社	7億8700万	1億809万
	金川千尋	信越科学会長	5億3500万	7218万
	星見治	セガサミー会長	4億3500万	5793万
	小島順彦	三菱商事会長	2億2500万	2800万
	岩佐弘道	三井不動産社	1億7100万	2031万

※1999年の税制改正で法人税が34.5%→30%に
所得税が50%→37%→40%に、住民税が15%→13%に減税
2000年には証券優遇税制が20%→10%に半減され今も続いている。
その年は国保法改悪「資格証発行義務化」を決めた年でした。

●所得2千万円以上(277,073人)の税率を消費税導入前に戻せば 2兆139億円増収

●輸出戻し税をやめれば還付金上位10社で 1兆1450億円の減税

- ①子供・高齢者の医療費を無料にするには 1兆3000億円
- ②後期高齢者医療制度の廃止 2000億円
- ③介護保険料・利用料の減免などで 3500億円
- ④障害者自立支援法「応益負担」撤回 450億円
- ⑤生保の老齢化加算・母子加算復活 750億円

合計 1兆9700億円

●国民健康保険予算(3兆8千億)より多い 軍事費(2010年4兆8千億)

思いやり予算 1900億円(1人1300万円) 大型ヘリ空母建造 1200億円
グアム移転に 5000億円 新型戦車購入費 200億円
沖縄の米軍基地地代 784億円 自衛隊用地代 115億円(年間899億円)

●政党助成金 毎年320億円 議員定数80人削減しても56億しか削減ならず

●官房機密費毎月5~7千万円 年間14億円(首相1千万円 元首相100円)

●天下り・金無駄遣いの独立行政法人(年間総予算12兆円)

内閣府4 総務省4 外務省2 財務省5 文科省23 厚労省20 農水省13
経産省11 国交省20 環境省2 防衛省1 合計105 その他外郭団体多

(資料)⑤主要国の国債所有者別残高

●日本の国債94%は国民が所有

国名	政府	中央銀行	金融機関	海外	その他	所有者	所有率	所有者	所有率
日本	15.8	13.0	60.7	4.6	5.9	民間銀行	36.4	財融資	3.3
アメリカ	14.1	16.1	12.9	43.6	13.2	生損保	23.6	投資信託	4.7
イギリス	0.2	1.7	65.6	26.4	6.1	公的年金	11.9	国内合計	94.0
ドイツ	0	0.3	34.8	44.8	20.1	日本銀行	8.2		
フランス	1.2	0.4	62.7	33.1	2.6	家計	5.3	海外投資家	6.4

(資料⑨-4 申告所得税の所得階級別の所得種類別内訳(日本は億万長者天国))

所得階級 (円)	申告納税 者数(人)	所得総額	所得の単位は億円			一人平均 所得(千円)	所得別 納税人口	所得税 の負担
			配当	土地譲渡	株式譲			
～100万	672,495	5,006	7	42	47	744	8.1684%	1.7%
～200万	2,154,458	32,858	35	187	149	1,525	26.1688%	2.3%
～300万	1,752,507	42,716	69	323	238	2,437	21.2866%	3.0%
～400万	932,303	32,207	60	419	279	3,455	11.3241%	3.5%
～500万	595,430	26,572	58	512	311	4,463	7.2323%	4.7%
～600万	414,454	22,670	60	552	326	5,469	5.0341%	6.2%
～700万	309,569	20,036	58	599	319	6,472	3.7601%	7.6%
～800万	233,756	17,463	55	630	316	7,471	2.8393%	8.8%
～1000万	311,150	27,724	96	1,342	590	8,910	3.7793%	10.4%
～1200万	197,359	21,559	90	1,340	515	10,924	2.3972%	12.4%
～1500万	192,455	25,724	159	1,997	657	13,366	2.3376%	15.1%
～2000万	179,181	30,810	267	3,040	849	17,195	2.1764%	18.2%
～3000万	141,598	34,191	473	4,807	1,155	24,147	1.7199%	21.5%
～5000万	87,827	33,126	692	6,284	1,404	37,717	1.0668%	25.3%
～1億	41,707	27,836	781	7,484	1,841	66,742	0.5066%	26.5%
～2億	11,472	15,355	648	5,171	1,977	133,848	0.1393%	25.2%
～5億	3,978	11,607	707	3,841	2,892	291,779	0.0483%	23.5%
～10億	821	5,576	390	1,531	2,313	679,172	0.0100%	21.3%
～20億	253	3,409	271	627	1,838	1,347,430	0.0031%	18.8%
～50億	118	3,413	317	332	2,213	2,892,372	0.0014%	16.7%
～100億	22	1,469	197	59	1,156	6,677,272	0.0003%	14.6%
100億～	10	1,878	31	0	1,832	#####	0.0001%	14.2%
計	8,232,918	443,205	5,520	41,119	23,219	5,383		

(資料⑨-10 一般・特別会計の決算は毎年黒字・財務省HPより)

【億円】

年度【平成】	歳入			歳出			差引 決算残	特別 会計数
	一般会計	特別会計	調整後合計	一般会計	特別会計	調整後合計		
1989【1】	672,478	1,753,309	1,374,585	658,589	1,528,016	1,133,914	240,671	38
1990【2】	717,034	1,945,434	1,444,893	692,686	1,685,838	1,168,582	276,311	38
1991【3】	729,905	2,077,664	1,520,754	705,471	1,778,793	1,206,219	314,535	38
1992【4】	714,659	2,207,930	1,619,801	704,974	1,887,982	1,295,625	324,176	38
1993【5】	777,311	2,362,067	1,736,124	751,024	2,022,411	1,379,116	357,008	38
1994【6】	763,390	2,471,479	1,792,456	736,136	2,142,451	1,450,781	341,675	38
1995【7】	805,572	2,678,136	1,938,575	759,385	2,324,658	1,553,251	385,324	38
1996【8】	818,090	2,807,144	1,996,626	788,478	2,452,104	1,619,614	377,012	38
1997【9】	801,704	2,834,993	2,080,156	784,703	2,470,359	1,699,385	380,771	38
1998【10】	897,826	3,064,169	2,253,439	843,917	2,725,791	1,865,499	387,940	38
1999【11】	943,763	3,101,755	2,337,890	890,374	2,793,689	1,987,630	350,260	38
2000【12】	933,610	3,411,463	2,346,697	893,210	3,057,759	1,994,664	352,033	38
2001【13】	869,030	3,962,235	2,757,269	848,111	3,633,367	2,483,434	273,835	37
2002【14】	872,890	3,997,456	2,670,766	836,742	3,738,977	2,453,763	217,003	37
2003【15】	856,228	3,857,548	2,517,016	824,159	3,576,913	2,308,537	208,479	32
2004【16】	888,975	4,193,004	2,791,701	848,967	3,760,329	2,333,209	458,492	31
2005【17】	890,002	4,521,410	2,832,019	855,195	4,011,835	2,301,828	530,191	31
2006【18】	844,127	5,015,363	3,031,810	814,454	4,505,795	2,509,225	522,585	31
2007【19】	859,752	4,043,575	2,547,345	859,310	3,630,224	2,149,880	397,465	28
2008【20】	860,613	3,943,238	3,877,395	830,613	3,684,476	3,591,982	285,413	21

08年度の余剰金28兆5413億円でしたが一般会計に繰り入れたのは2兆4041億円どまり、4兆1658億円が特会の積立金に、21兆3764億円が09年度の特別会計予算への繰入にまわった。09/8/1日経